

平成30年6月1日

ご利用者（団体）各位

国立曽爾青少年自然の家

所長 下村 善量

日頃より、当施設の運営にご理解賜り、誠にありがとうございます。

さて、5月27日（日）から28日（月）に当施設を利用した学校1校で、感染性胃腸炎の集団発生がありました。

奈良県中和保健所が食中毒、感染症の両面の疑いから、当施設を訪れ、現地調査を実施しました。その結果、当施設の食堂職員全員のウイルス検査は陰性であったこと、施設の衛生管理に問題はないことが判明しました。併せて、当該学校の感染者の発症状況や潜伏期間などからも「食中毒は否定」され、保健所の指導による施設内の消毒も実施しました。

また、当該学校の後、28日（月）から利用した5校への感染もなく、それ以降の利用団体からも感染の報告はありません。

曽爾は安全です。中和保健所により「食中毒は否定」されました。

なお、奈良県内では感染症胃腸炎が、今なお発生しています。利用団体の代表者の皆様におかれましては、事前に参加者への健康調査を行っていただき、体調をくずしている場合は無理のないようご配慮ください。

皆様のご利用お待ちしております。

参考情報

「感染症の注意喚起～感染性胃腸炎の集団発生について～」(奈良県庁ホームページ)

<http://www.pref.nara.jp/item/197529.htm#moduleid17426>